

選挙・・・・・・・・一九六四年二月

半歳の固辞も空しく立候補 決意せし夜の流星一つ

(茨城県取手町議から町長選に出て惜敗した高橋英典氏に口説かれて)

高橋さんは東大経友会から全学連初代書記長。後に朝日航洋社長)

立候補決意せし夜にわが妻は 貯金通帳差しいだしけり

北風も西風も衝きペダル踏む 利根のほとりで候補者となるわれ

わが妻はなれぬ身ぶりで教員の 仲間訪いつつ吾のために請う

たすきがけみぞれの街をわれ行けば 握手求めくる勤め人らは

声もかれ足も棒なる一週間 革新初議席へ変わり果てしわれ

(立候補33人、定数30人中161票を得て8位で当選)

当選の夜のストーブあかあかと 革新初議席に労組員ら酔う

選挙終え利根の河原に降り立てば さびしきかなや天翔ける鳥